



安全な理科授業のために～この時期にこの指導～

月旬	1月			2月			3月				
	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
1年	3. 身のまわりの現象			4. 大地の変化							
	3章 力の世界			1章 火をふく大地		2章 動き続ける大地		3章 地層から読みとる大地の変化			
<p>地学領域が中心になります。多様な活動が考えられますが、適切に安全指導を行った上で、豊かな活動を行えるようにしましょう。</p>			<p>岩石の学習 岩石ハンマーを用いる場合は、破片が飛び散ります。安全眼鏡を確実に着用しましょう。風化の実験として、花崗岩を加熱・冷却する実験が行われることがあります。加熱した時に花崗岩が飛び散りやけどをした事故が報道されたことがあります。予備実験で危険の有無を十分確認しましょう。</p>			<p>地層の学習 適切な場所があれば、野外での露頭観察は是非行いたい学習です。落石、水辺等の危険がない場所を選び、交通安全、ハンマーの使い方等、事前指導を十分行って野外観察を行うことが重要です。</p>					
2年	4. 電気の世界			3章 電流と磁界							
	1章 静電気と電流		2章 電流の性質								
<p>第2学年は物理単元、電流の世界です。器具を安全に取り扱えるよう、事前指導を十分に行いましょう。</p>			<p>回路の学習 抵抗を挟まずに+と-をつなげるショート回路をはじめ、電気器具や計器を誤って用いることで過熱、けがにつながるような正しい操作を指導するとともに、生徒の実験の様子に常に目を配りましょう。</p>			<p>抵抗の発熱 電流による発熱の学習や、電流と磁界の学習では比較的大きな電流を流すため、ニクロム線やコイルが発熱します。生徒が気付かずに触れ、火傷をすることがあります。必要な時だけスイッチを入れる、加熱部には触れないなど、生徒が危険を予測できるよう指導しましょう。</p>			<p>平成30年度へ向けて、理科室、準備室の整備を行いましょう。薬品の保管で、「ペットボトルに試薬を保管」していることはありませんか。誤飲防止の観点からも行わないよう過去に通知が出ています。適正な容器で保管されているか確認しましょう。</p>		
3年	4. 地球と宇宙		5. 地球と私たちの未来のために								
	3章 月と惑星の見え方		1章 自然のなかの生物	2章 自然環境の調査と環境安全		3章 自然の恵みと災害		4章 科学技術と人間		終章 持続可能な社会をつくるために	
<p>義務教育における理科教育が終了します。科学技術や自然に対し安全に関わる態度も十分育て、卒業を迎えましょう。</p>			<p>微生物のはたらき 微生物のはたらきを調べる実験を行ったときは、実験に用いた液は煮沸してから捨て、生徒に手洗いを十分するよう指示するなど、不要に菌類・細菌類が繁殖しないよう注意が必要です。</p>			<p>環境調査 教科書は水生生物、土壌生物の野外調査が例示されています。安全な場所で行うことはもちろん、危険生物に対する注意を喚起し安全に行いましょう。</p>			<p>1年間ありがとうございました。平成29年度東濃管内は実験事故なく終わることを強く願っています。実は学年が変わる4、5月に事故が多いため、安全指導についても確実に引継ぎをお願いします。</p>		

